

平田オリザ、ケラリーノ・サンドロヴィッチが注目!
若手女流脚本家のトップランナー高井浩子の

劇団・東京タンバリン

「ふ が く ひ ゃ つ け い」

新作 「婦嶽百景」

見る場所や角度によって、様々な顔を見せる富士山のように、
女性も見る場所や見方によって様々な顔を見せる
作・演出：高井浩子



5月18日(金)～27日(日)
吉祥寺シアター

開演日時	18 (金)	19 (土)	20 (日)	21 (月)	22 (火)	23 (水)	24 (木)	25 (金)	26 (土)	27 (日)
11:00							★			
14:00									●	
15:00					休演日					●
18:00			●						●	
19:00		●							●	
19:30	★			●		●		●		
20:00						●				

★ 割引公演
全席自由：一般3,300円／割引公演3,000円
アルテ友の会特別割引2,700円(全日程・前売りのみ)

東京タンバリン
日本人の心に潜む「光と陰」を日常会話の中にあぶりだしていくオーソドックスな物語を様々な演出方法によって「見せる」演劇として提案。誰もが一度は通るであろう小社会(家族、学校など)を舞台に、そこで起こる出来事(事件)とそれを取り巻く人々の姿を描き出していく。

イベント “吉祥寺お散歩”

4つのルートの中から、ひとつ選んで出発
役者と吉祥寺を散歩し、芝居の中に入って行こう!

ルート①「向い、風のポニーテール」午後2時開演

ルート②「北枕をぐいっしょに」午後4時開演

ルート③「おつかいもの」午後1時30分開演

ルート④「女子ベディア」午後2時30分開演

4月13日(金)～16日(月)

会場：吉祥寺シアター稽古場→吉祥寺の町中
1ルート：500円(友の会割引なし)

公演は全日4タイトル、4ルートで上演します。
上演時間：1時間～1時間30分(予定)

武蔵野から世界へ発信!

第7回 武蔵野市
国際オルガンコンクール
本年9月に開催



詳細は決まり次第、ホームページなどで発表します。
www.musashino-culture.or.jp/iocm

ホームページリニューアル!
インターネットでもチケットの申し込みが
できるようになりました。

twitter でも公演情報などをつぶやきます
文化事業団:@musashino_bunka
吉祥寺シアター:@Kichi_Theatre
吉祥寺美術館:@kichi_museum

公益財団法人 武蔵野文化事業団

www.musashino-culture.or.jp

● チケットのお申し込み

☎ 0422-54-2011

● チケット取り扱い窓口

● 武蔵野市民文化会館 ● 武蔵野芸能劇場 ● 武蔵野公会堂 ● 武蔵野スイングホール
● 吉祥寺シアター ● 吉祥寺市政センター ● 武蔵境市政センター ● 中央市政センター

石川梵 写真展

THE DAYS AFTER

東日本大震災の記憶

2012年

4月1日(日)―5月13日(日)

休館日=4月25日(水)



©Ishikawa Bon



©Ishikawa Bon



©Ishikawa Bon



©Ishikawa Bon



©Ishikawa Bon

講演会「震災から1年―子ども達からのメッセージ」
 日時: 4月14日(土) 午後2時~3時30分
 会場: 吉祥寺美術館音楽室
 定員: 90名(要予約・先着順)
 申込方法: 4月2日(月)よりお電話または美術館窓口
 で直接申し込み
 ※入場無料ですが美術館入館券が必要です。

2011年3月11日、世界を震撼させる大地震と大津波が東日本を襲ったその翌日、町田市在住のフォトジャーナリスト石川梵は、セスナ機で被災地へ向けて飛びました。空撮を終えて飛行場に降り立つと、すぐさま陸路、北へ向かいます。「私はニュース写真をほとんど撮らない。時間をかけたドキュメントが自分の持ち味だ。」という石川氏の旅は2カ月にも及びました。

「被災地で体験する出来事はどれも悪夢を見ているかのようだった。(中略) 悲惨な光景はアフガニスタンやスーダンなどさまざまな現場で目撃したが、それが自分の祖国で起こることが信じられなかった。いや、正しくいえば、このとき、自分の中で世界と自分を隔てる国境が取り払われたといった方が正しいかもしれない。世界の戦場、震災地ですら体験したことのない出来事が日本では起こっていた。」(『THE DAYS AFTER 東日本大震災の記憶』より)

石川氏が写したこの光景は見る者に迫り、まるで自分がその場に立ち尽くしているかのような感覚にさえ襲われます。本展覧会では、震災直後の岩手・宮城・福島に取材した写真集『THE DAYS AFTER 東日本大震災の記憶』(飛鳥新社)収録の写真を中心に紹介するほか、取材に同行し人々の癒しとなった石川氏の愛犬・十兵衛と被災地とのふれあいの一コマを紹介します。また今なお石川氏は被災地へ足を運び、シャッターを切り続けその変わり行く様子を記録しています。本展開催直前までに撮影された被災地の「一年後」の姿もお伝えできることでしょう。震災から一年を経た今、この写真たちと向き合うことで、未曾有の出来事が過去形でも他人事でもないことを改めて意識するきっかけになることを願います。

記念室のご案内 **7月1日(日)まで**

《浜口陽三記念室》《萩原英雄記念室》

開館10周年記念 浜口陽三・萩原英雄展 ― 見つめるちから ここ・そこ・どこか ―

次回展のご案内 **5月19日(日)~7月1日(日)**

3月は市民ギャラリーとして貸出中のため美術館主催の企画展はありません。

追悼・一原有徳展

既存の版画の枠を超えた独創的な作品で国際的にも高く評価された版画家・一原有徳(1910-2010)は、平成22年10月1日、惜しまれつつ逝去した。故人を追悼し、かつその功績を改めてたたえ、武蔵野市所蔵品の中から画業をたどる。



武蔵野市立吉祥寺美術館

〒180-0004 武蔵野市吉祥寺本町1-8-16 F&Fビル(コビス吉祥寺A館)7階 ☎0422-22-0385
 ホームページ http://www.musashino-culture.or.jp/a_museum/

開館時間: 午前10時~午後7時30分

休館日: 毎月最終水曜日(祝日の場合は翌日)

年末年始、展示替えおよび特別整理期間

入館料: 100円(小学生以下・65歳以上・障がい者は無料)

■交通案内 / JR、京王井の頭線「吉祥寺駅」中央口下車 徒歩3分